

柏原町・氷上町・青垣町・春日町・山南町・市島町

合併協議会だより

No.5

2002.1.29発行



会場ごとの主な意見を、次ページで紹介します。
(重複分は割愛)

住民懇談会を開催

氷上郡6町の合併問題に対する関心を高めるとともに、住民が町合併を自らの問題として考え、将来構想(まちづくりビジョン)策定の資料とするため、11月21日から12月5日までの間、氷上郡各町において住民懇談会を開催しました。

協議会の活動報告と住民意識調査結果報告の後、合併問題に対する質問や意見交換を行い、各会場では、将来のまちづくりに対する期待や不安など、活発に意見が出されました。

(参加者は延べ773人)

もくじ CONTENTS

2. 住民懇談会 - 住民の声 -
4. 将来構想(まちづくりビジョン)を検討協議しています
7. 合併協議会Q&A みんなの声(意見集より)
8. 昭和の大合併と平成の大合併 合併協議会開催のお知らせ ホームページ紹介

柏原町 (112名参加)

柏原町は、教育・環境・福祉施策も現状で十分である。氷上郡は将来何を目標にするのか。みんなが希望のもてる方向性を示してほしい。

↓各町とも地方債残高が大きく、財政難である。今後はさらに交付税削減の方向が予想されることから、将来的にはこのしわ寄せが来ることになる。

合併したらどうなるかという具体的な資料を求める。

↓今後協議を重ね具体的な段階になる。また、単町では解消できないような課題も、財政的支援を受けて広域的に取り組むことができると思う。

合併問題は、現実のメリット・デメリットがクローズアップされるが、これから数年後の問題も、



将来を担う若い世代の問題として見据えて議論すべきであると考え

る。住民投票については、議会制民主主義をとっているのだから、選挙で選出された町民の代表である議会で、責任を持って決議されたい。

氷上町 (169名参加)

「合併支援地域」の指定について、合併協議会で協議されたのか。また、助成金を受け取ったのか。

↓合併支援地域は協議会に支援するのではなく、各町に支援されるもので、支援の内容は情報提供などである。

氷上町は財政力も比較的良好で、下水道・学校・図書館・社会福祉活動も充実している。このような状況で合併の必要があるのか。反面、国の流れや他町の動向を考えると合併の必要性を感じる。ところであり、判断に迷っている。↓氷上町は高いレベルにあるが、今までの枠組みではやっていけない。高齢者福祉など単町でやっていけるのか。例えば福祉バスは氷上町だけではできないし、水問題や複線電化など広域的な課題もある。

る。氷上町だけでという考えではなく、今後検討していきたい。高速道路や柏原町の廃棄物問題等、郡内全域の問題としてとらえていく必要がある。



青垣町 (115名参加)

合併後の青垣町について、今までの以上の人口の減少、農家の立場に立つたきめ細かい農地行政が浸透するのか、除雪作業が行き届かないことが出てくる、という懸念があるので、平等な議論をお願いしたい。

↓青垣町の中でも重要な問題であり、検討していきたい。

合併問題については、将来子どもたちが幸せになれるよう、軽はずみに判断せず、慎重に審議していく必要がある。

青垣町は辺地であり、取り残されるという懸念から、私は合併には反対である。農協は合併によって不便になったとの意見も聞く。↓新市のめざすところは、どこに住んでもサービスと負担は同じになるのが原点であると思っている。

合併問題に関する住民懇談会



合併が求められる理由は、効率性の向上だけであり、住民サービスの低下につながる。青垣町の財政は健全化されており、合併しない方が得であると思う。

ごみ処理、環境、福祉問題など、合併しなければ時代に対応したサービスができないのではないかと思う。

住民懇談会

住民の声

(質問・意見 ↓ 答弁)

山南町 (113名参加)

合併特例法の期限内に合併することについて、やり方を間違えれば、地方分権の主たる目的の精神と相反することになるのではないか。地域の方が、私たちの町がどうしたらいい町になるか真剣に考え議論し、その上で町村合併でなければならぬ。地域住民の理解と議論を充分踏まえて、町村合併を考えていただきたい。

町村合併は一般論として理解はできるが、自分のこととして考えた時には不安と心配がある。できるだけ問題点についての施策、対応についてリーダーシップに期待したい。



春日町 (135名参加)

合併すれば地域間格差が大きくなるのではないかと、国は合併させようとしているが、小さい村でもすばらしい自治体がある。

委員36名や議員16名に賛否を問うのは大変。住民の意見を十分に聞いて欲しい。

あくまで合併の是非の方向性を問うもの。資料については十分に提示させていただき、住民の意見を汲み上げたい。

合併研究会について教えて頂きたい。
↓春日町民の意見を多く取り入れるために、委員21名で発足した。公開については今後検討していく。是非の判断をする場合、日常生活で利不便を直接感じている女性の意見を出しやすい場づくりが必要である。

市島町 (129名参加)

↓福祉・医療など住民ニーズが多様化している。山南町が合併しなかったとき、多様なニーズに対応できるのか、合併の是非を考えるとときに検討すべき課題である。環境、教育、行財政の問題も念頭において合併議論が必要である。

道路整備や福知山線複線化の問題など、町独自の課題が合併によって隠れてしまうことを心配する。

↓すべての人が幸せとなり、和の心を持つことが重要で、周辺部に光を当てることが大同合併であると考える。

合併特例債があるから合併するのではなく、10年先、20年先、100年先をしっかりと見据えて、負の部分も示しながら、合併協議会として合併問題を提起してほしい。

市島町 (129名参加)

「合併支援地域」の指定申請には、合併協議会の正式決定が必要であったのではないかと。

↓支援地域指定は、研究が深まるための支援であり、町長が判断して申請を行った。



合併特例債が交付税に算入される保障があるのか。
合併の長所と短所を、町民の視点から論じて示してほしい。
今後も懇談会がもたれるのか。住民には合併協議会に任せているところがあり、ほとんどわかっていない。時限立法につられることなく、十分に議論してほしい。
↓今後の会のもち方については、6町の懇談会での意見を聞いて検討していきたい。

多数の貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。今後の協議会活動の参考にさせていただきます。

将来構想(まちづくりビジョン)について

「将来構想(まちづくりビジョン)」とは

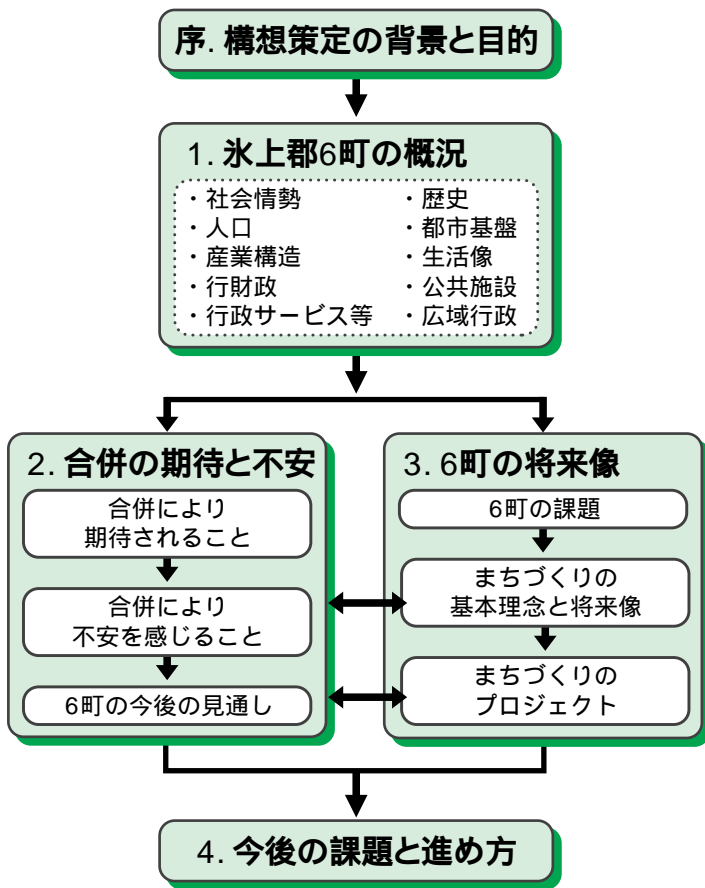
氷上郡6町が仮に合併してひとつの市となった場合に、その新しい市が目指すまちづくりの将来像です。

「将来構想(まちづくりビジョン)の位置付けはどうなっているのか？」

「将来構想(まちづくりビジョン)」は、あくまでも合併の是非に関する方向性を確認するための手段として策定するものであり、合併を前提として策定するものではありません。

そして、将来構想(まちづくりビジョン)をもとに、より多くの住民とともに合併のあり方について議論を展開し、コミュニケーションを図るなかで合併の是非を検討していきます。

現在、左記に示すような流れで将来構想(まちづくりビジョン)を策定しています。



将来構想(まちづくりビジョン)を検討協議しています

予想される合併の効果

氷上郡において予想される主な合併の効果について示します。

行財政運営の効率化が図られます

- ・ 管理部門等に従事する職員の削減が可能となり、住民ニーズに対応する組織の再編成と人材の適正配置が可能となります。
- ・ 具体的には、住民からの要望が高くなっている福祉・医療等の専門行政サービス部門に専門職員を増強配置することが考えられます。
- ・ 合併特例法の適用を受ければ、十五年間は地方交付税の特例措置がなされるときも、合併特例債の創設により、約四五〇億円の事業実施が可能となります。

少子高齢化の進展に配慮した施策展開が可能となります

- ・ 子育て支援施設や高齢者福祉施設など、新市全体の利用需要や供給能力を見極めた上で、効率的な利用の促進や施設整備が可能となります。
- ・ 生涯学習など、幼児から高齢者のいきがいつくまで少子高齢化に対応した重点的なサービス提供が可能となります。

行政サービスの向上など住民の利便性が向上します

- ・ 合併することによって、町境界がなくなり、住民票の発行、手続きなど、利用可能な窓口が増加します。
- ・ 文化施設やスポーツ施設などの公共施設の相互利用が可能になるなど、広域的な利便性が図られます。

広域的な観点に立つたまちづくりと、施策の展開が可能となります

- ・ 豊かな自然環境や歴史・文化資源等を生かして広域観光ネットワーク化を図る等、郡内外での連携・交流を促進することが可能になります。
- ・ 上水道事業については、広域的な視点から水資源問題への対応が可能となり、水不足の問題に柔軟に対応できるようになるほか、経営基盤の合理化が図られることとなります。
- ・ 廃棄物処理施設やリサイクルセンターなどの広域整備や活用が可能になるほか、より環境に配慮した対応も可能となります。

合併の問題点とその検証

水上郡において予想される主な合併の問題点とその検証内容について示します。

合併後、中心地域だけが発展し、周辺地域が取り残されてしまつのではないですか？

- ・合併すると行政区域面積が広い市となることから、地域全体のバランスの取れた発展が重要となります。
- ・そのための施策として、道路整備や情報通信システムを活用した各種サービスの提供等ハード・ソフト両面での対応が考えられます。
- ・新市の周辺地域は、新市の玄関口とも言える地域となりますので、今後、住民の意向を踏まえつつ、特色性のある位置づけに留意していくことを想定しています。

合併後の市役所が遠くなり、今までより不便になりませんか？

- ・窓口サービスをオンライン化し、市の施設のどこでも窓口サービスを受けられるようにすることが考えられます。
- ・旧町の役場や支所などの各施設を有効活用することにより、全体としてこれまで以上に便利にすることも可能です。
- ・また、情報通信技術のさらなる発展により、在宅で各種の生活利便情報の提供が可能になることが期待されます。

市域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなるのでは？

- ・地域内外の生活道路の整備や公共交通機関の整備・充実に努めることが考えられます。
- ・情報通信技術を活用した生活情報の提供や住民ニーズの把握を行うことにより、新市の広さに関係なく、より充実したサービス提供が可能と考えられます。

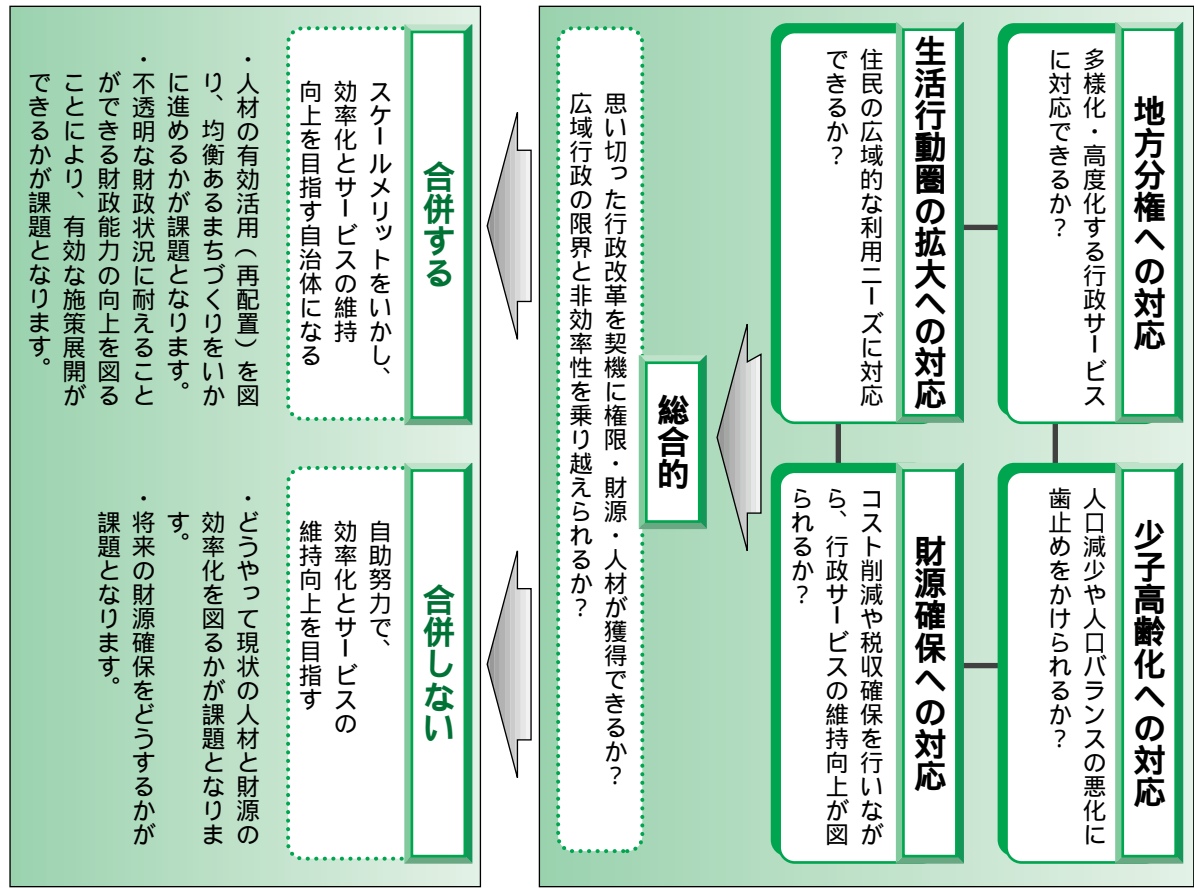
議員が減り、住民の声が届きにくくなりませんか？

- ・合併特例法に基づき「地域審議会」を旧町区域ごとに設置し、合併前の旧町の意向に考慮できるようにしています。
- ・また、小学校区などで住民の方々が主体的に参加するまちづくりについても、国の支援が受けられます。
- ・そつしたことから、住民ニーズに対応するため、これらの設置、活用も検討されていきます。

将来構想(まちづくりビジョン)を検討協議しています

水上郡6町の今後の見通し

今後の水上郡6町の将来見通しについて、地方分権への対応、少子高齢化の進行や住民の生活行動圏の拡大、財源確保の問題および総合的な視点から検討すると、以下ようになります。



将来構想(まちづくりビジョン)を策定するにあたり、氷上郡6町が新市となるにあたって想定される課題を抽出すると左記のようになります。

地域の概況

総人口約 73,000 人、行政区域面積約 500 km²
 高齢化が県全体に比べて進行している。
 県全体と比べて第 1 次産業の就業人口割合が高く、
 第 3 次産業の割合が低い
 田園環境や恵まれた自然環境が地域の魅力となっ
 ている
 地域の歴史・文化資源も豊かである
 住民の日常生活行動圏は、行政区域を越えて
 流動しているほか、周辺都市へも流出している

上位・関連計画からの位置づけ

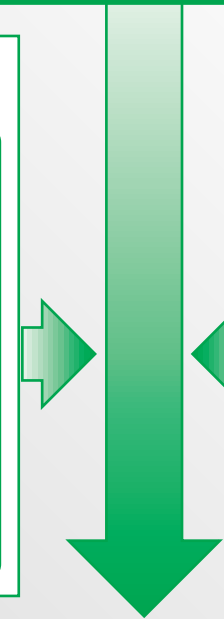
21世紀兵庫長期ビジョン
 ・森の住民から「森の市民」へ、みんなで丹波(ふるさと)の森づくり
 自然環境を知り、保全のためのルールづくりと
 取り組みを進める
 地域を支える人材育成や高齢者
 地域特性を生かした産業振興
 氷上郡第四次広域市町村圏計画
 「多自然居住スタイルの創造と発信」
 快適な“森”環境づくり
 子どもと高齢者の楽園づくり
 産業振興と雇用の場づくり
 にぎわいとふれあいの地域づくり
 交流を支える交通・情報基盤づくり
 氷上郡6町の総合計画・振興計画

住民の意向

公共交通の充実、産業活力向上に資する
 施策の満足度が低い
 生涯学習や教育・文化、身近な生活環
 境に対する満足度は高い
 福祉・保健・医療の充実が特に優先度
 の高い施策として要望
 だれもが安心して暮らせるための健康・
 福祉や子どもの教育環境等を重視した
 「暮らしやすさ」の充実した将来像を
 望む声が多い
 20、30歳代は、自然豊かなまちを志向
 する割合が高い
 20、30歳代は、合併によって行政サー
 ビスの向上に関する期待が大きい
 合併により地域間格差とサービス低下
 が心配されている

地域構造(都市基盤構造)

北近畿自動車道の整備促進と
 広域交流の促進
 東西方向などの地域内流動の
 促進と基盤整備
 鉄道・バス等の公共交通の整
 備・充実



新市の課題

高齢社会
への対応

子どもたちの
健全育成への対応

地域間格差に
配慮した生活環境
への対応

自然環境の
保全・活用

産業活力の向上

新市内外の
連携促進

氷上郡6町が新市となった場合の課題を踏まえ、
 まちづくりの基本理念と将来像を検討します

合併協議会Q&A

Q 法定協議会とは？

A 地方自治法と合併特例法に基づいて設置された法定の合併協議会で、当協議会は住民発議により6町の議会の議決を経て設置されました。

Q 協議会では何をするのでですか？

A 当協議会の規約では、合併の是非を含めた合併の協議、建設計画の作成に関する協議、合併に関する必要な事項となつていきます。

Q 委員はどんな方ですか？

A 町長6人、議会議長6人と住民代表24人の36人です。

Q 協議会の内容をもっと知りたいのですが！

A 会議は傍聴できます。また、会議の内容は各町の役場・支所で、会議資料と会議録を見ることができまますので、積極的にご覧ください。

Q 私の意見を聞いて欲しいのですが！

A 各町の役場や公民館などに「意見箱」を置いてありますので、どしどしご意見をお寄せください。またホームページみんなの広場、メールや郵便でも結構です。意見はすべて協議会委員全員が確認し、それらの意見を把握しながら協議を行っていきます。なお、14年度には説明会や意識調査が予定されていますので、説明会には積極的に参加いただきます。ご意見をお聞かせください。

Q 将来構想と建設計画はどう違うのですか？

A 将来構想は市としてのめざす姿を描き、合併の是非の方向性を確認するために作成します。建設計画は是となれば策定を行います。主要施策と財政計画を含めた新市の具体的なまちづくり計画です。

Q 将来構想だけで是非を判断するのですか？

A 将来構想は3月末を目途に作成し、概要版を各家庭にお届けしますが、判断は、「合併した時の料金やサービスがどうなるか」だけを判断材料とせず、「今のままでやって行けないのか」「今後何を求めていくのか」「なぜ必要なのか」など、町の財政の見直しや、皆さんの暮らしの環境を維持または充実が将来に渡って可能かどうかを見据えた判断が必要と考えます。そのため情報の提供を行っていきます。

Q 是の方向に決まったのですか？

A 是に決まったわけではありません。本年10月に、合併が必要かどうかの判断を協議会が出す予定です。

Q 合併問題は住民参加で行うべきですね。

A いま住んでいる町の将来に係わる重要な問題です。そのためには住民一人ひとりが自分の問題として関心を持つことが大切です。協議会として必要とする情報は今後できる限り提供していきますので、みなさんも積極的に情報収集に努めて、少しでも多くの意見を協議会に届けて頂くことを期待しています。まず、身近な人と合併問題を話題にしてみましょう。

みんなの声 (意見集より)

一口に氷上郡といっても、

山南町は播州、青垣町は但馬、市島町は福知山方面との交流が多いものと思われる。兵庫県が南は淡路から北は但馬まで広範囲で、それぞれが独立した地域性を持つがために兵庫県人会というものが無いのに等しく、その縮図ともいえる氷上郡が一つにまとまるといのは非常に困難だと思われる。

このまま話が進んだとしても、市の中心は柏原町になるであろうし、その他の町は結局現状のまま置き去りにされてしまふであろう。

真剣に議論するのであれば各町が自分の町の利益のみを

考えるのではなく、それぞれの町が市の中の部分を担うのかを見据えた上で長期ビジョンを構築しなければ、必ずや合併は失敗するものと思われる。

そういつた大所高所に立って、住民本位の合併論を真剣に議論していただきたい。
(40代男性より)

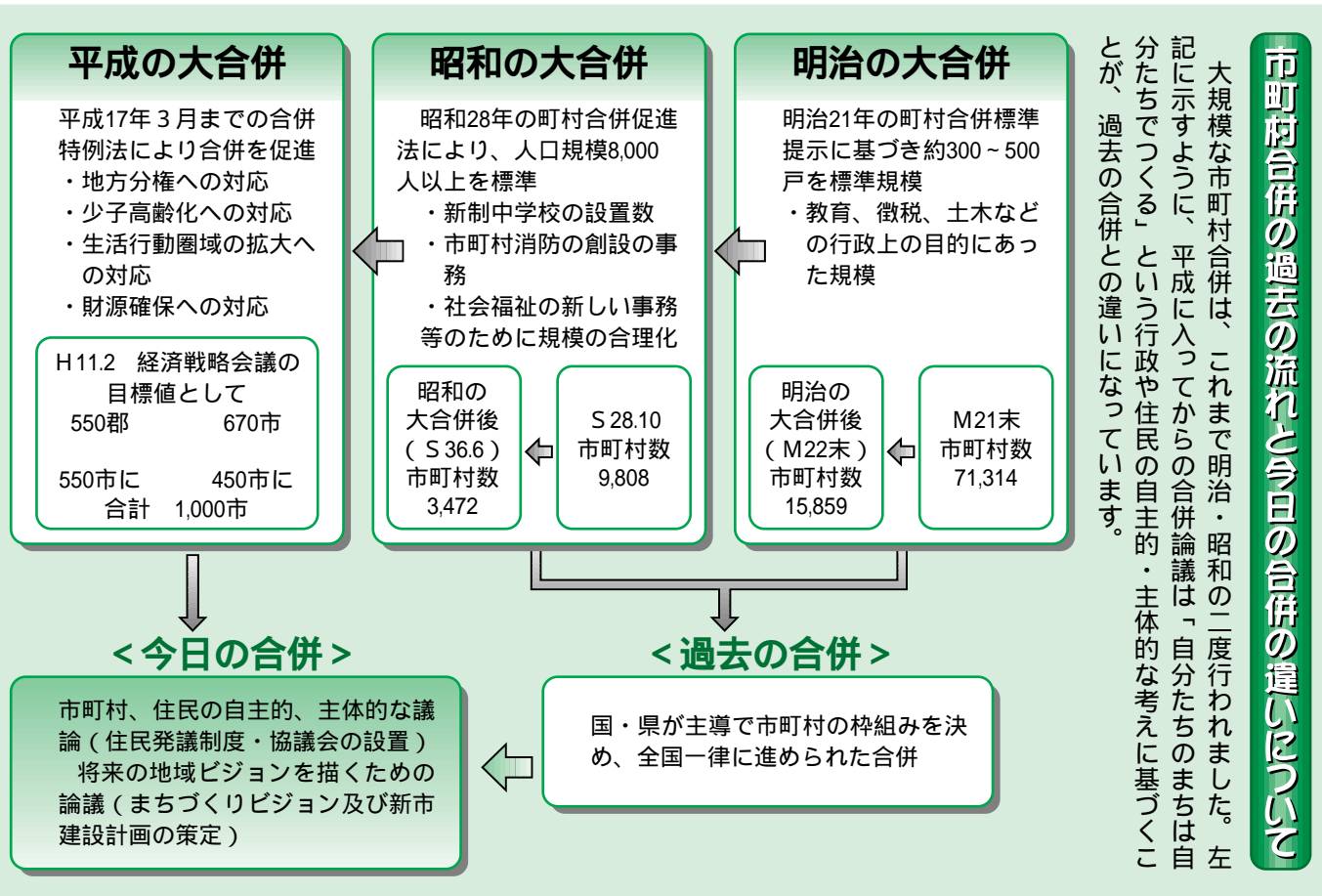
9月29日の公開セミナーに参加して、初めてこの問題を自分のこととしてとらえることができました。住民皆が合併という問題について、自分の目先のことでなく、次の世代の人が、この土地に住もう、住んでよかつたと言える郷土づくりでありたいものです。

参加して、顔ぶれが特定の人が多いように思えたのと、女性の方の参加が少ないように残念でした。
(60代男性より)

お詫びと訂正 だより第4号「公開セミナーパネルディスカッション」の由良ゆかり氏の意見で、「男女の役割分業などが確立されていない」となっておりましたが、「男女の役割分業などがはっきりしている」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

市町村合併の過去の流れと今日の合併の違いについて

大規模な市町村合併は、これまで明治・昭和の二度行われました。左記に示すように、平成に入ってから合併協議は「自分たちのまちは自分たちでつくる」という行政や住民の自主的・主体的な考えに基づくことが、過去の合併との違いになっています。



ホームページ紹介!

合併協議会では、氷上郡の概要、合併協議会だより、会議



の経過と予定など協議会に関する情報をホームページで提供しています。また、皆様からご意見をいただいたり、紹介をする「みんなの広場」コーナーも開設しています。

アドレス <http://www5.nkansai.ne.jp/org/h6gappeik/>

合併協議会開催のお知らせ

第12回 合併協議会

日時 14年2月15日(金) 午後1時30分より
会場 ライフピアいちじま(市島町上田)

第13回 合併協議会

日時 14年3月9日(土) 午後1時30分より
会場 かいばら生涯学習の森(柏原町柏原)

編集後記

今年の10月には、合併の是非の方向性が確認されます。将来に悔いを残さない選択のためには、現状の分析や情報の提供をより充実していくことが、事務局に課せられた大切な仕事と思っています。

協議会が設置されて、2度目の新年も迎え、この間の1年4ヶ月はあっという間に過ぎました。10月までに判断するだけの意識形成ができなければなりません。これまで以上の濃密なスケジュールで事務を進めていくことが求められます。

新年を迎え、新たな気持ちで事務局一同一杯務めて参ります。本年もよろしくお願いたします。

ご意見をお寄せ下さい

氷上郡6町の合併問題に関するご意見・ご要望を皆様からお寄せいただくため、意見箱を各町役場、公民館等に設置しています。

合併協議会は傍聴できます

合併協議会は、どなたでも傍聴することができます。希望される方は、会議開始の15分前までに受付をお願いいたします。(定員を超える場合は、抽選とさせていただきます。)

発行 / 柏原町・氷上町・青垣町・春日町・山南町・市島町合併協議会

住所 / 〒669-3309 兵庫県氷上郡柏原町柏原525-1 氷上郡民会館内 TEL / 0795-73-3122 FAX / 0795-73-3123
アドレス / <http://www5.nkansai.ne.jp/org/h6gappeik/> E-mail / h-gappeikyou@mx.nkansai.ne.jp